

令和4年度 釧路教育研究センター 運営審議会

日 時：令和4年7月13日（水）16：00～17：00

場 所：釧路教育研究センター 2F大会議室

出席者：別添 運営審議会座席表のとおり

関係資料：資料1 令和3年度事業報告

資料2 令和4年度事業計画

1 開会

2 委嘱状交付

3 教育長挨拶

4 議事

(1) 令和3年度事業報告

○事務局より、資料1を使用し、説明。

(2) 令和4年度事業計画

○事務局より、資料2を使用し、説明。

(3) その他

【以下、質疑応答】

◇委員

・昨年度作成の「学級経営に生かすハンドブック」は、200部作成となっているが、これは何を基にした数字なのか。

◆事務局

・市内小中学校に2部ずつ配布する分と、関係機関に配布する分、さらに残部として30部程度と考えて作成している。

◇委員

・大変、素晴らしい紀要であるため、特に初任者などは参考にするとよいと思う。自分が初任者の時は全員に配布されていたと記憶しているが、各担任に配布はされないのか。

◆事務局

・予算の都合上難しい。釧路教育研究センターのホームページにPDF版がアップロードされているので、そちらをダウンロードして活用していただきたい。

◇委員

・今回の役職に大きな責任を感じている。そこで、過去の議事録にも目を通して見たが、令和2年度の運営審議会の中で「保護者がセンター講座に参加できないのか。」という質問があり、「検討していきたい。」と回答されている。令和3年度にはそれに関わる記録がないが、今年度、そのような計画はされているのか。

◆事務局

- ・コロナ禍で、様々な研修会において参加者数を制限している状況である。この状況下で、保護者への参加呼びかけは難しいと考えている。

◇委員

- ・センター講座は、今日的な課題と直結している内容が多く、校内研修や個人研修に大変役立っている。釧路市教育委員会のホームページには授業動画がアップされており活用もしている。さらに、授業マイスターの先生の授業を見られる講座についても先生方の興味・関心が非常に高い。講座が先生方の研修に非常に役に立っていると感じている。

◇委員

- ・研修講座は学校では気付けないことに気付ける貴重な場になっている。ただ、開催していない教科もあり、アンバランスさを感じる。社会科の先生が「どの講座に参加したらよいかわからない。」と言っている。色々な先生方に気づきのチャンスを与えていただけると嬉しい。

◆事務局

- ・講座の教科のバランスについては、私共も毎年、検討しているところである。理科・社会・総合的な学習の時間に関しては、3年サイクルで実施している。エネルギーと環境教育については2年サイクルで実施している。

◇委員

- ・授業マイスターの選定方法を教えてほしい。

◆事務局

- ・校長先生の推薦を頂いた後、教育長をはじめ、指導主事も授業を参観し検討している。

◇委員

- ・どのくらいのスパンでどのくらいの人数に増やしていく予定なのか。

◆事務局

- ・人数的には、未定ではあるが、今後、マイスターの先生は増えていく予定である。

◇委員

- ・公開研究会、センター講座に先生が参加すると学校が回らない。教員不足で出づらい。学校でもやりくりしながら参加している。悩みとして聞いて欲しい。

◆事務局

- ・ご意見としてお受けいたします。

◇委員

- ・この度、教員免許更新制度が廃止された。大学としては、授業の実施がなくなったが、新たな研修制度を設けることが求められている。今後、それに関わって研修講座との絡みは出てくるのか。関連は考えているのか。

◆事務局

- ・まだ指針が出ていない。道教委が法政研の中で体制を整えるので、それに合わせて釧路市は実施したい。

◇委員

- ・センターの移転については話が進んでいるのか。

◆事務局

- ・現在検討中である。管内の研究所もあるので、管内の教育長と検討をして大筋の方向性が見い出ししていく。

5 閉会